



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月8日

上場会社名 不二ラテックス株式会社
コード番号 5199 URL <https://www.fujilatex.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 近藤 安弘
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 金原 辰弥
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-3293-5686

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	5,721	7.4	376	34.2	359	35.1	257	34.0
2023年3月期第3四半期	6,176	0.6	571	11.7	553	10.3	390	10.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 302百万円 (29.1%) 2023年3月期第3四半期 427百万円 (20.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	203.21	
2023年3月期第3四半期	307.99	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	11,471	3,816	33.3
2023年3月期	11,474	3,576	31.2

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 3,816百万円 2023年3月期 3,576百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				50.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				50.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,100	0.2	667	12.3	586	19.7	395	23.6	311.52

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	1,286,199 株	2023年3月期	1,286,199 株
期末自己株式数	2024年3月期3Q	18,149 株	2023年3月期	18,075 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	1,268,099 株	2023年3月期3Q	1,268,305 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、物価高を受けて個人消費が伸び悩むほか、海外経済の減速に伴う輸出の停滞など経済成長のペースは緩慢になっています。

世界経済については、欧米を中心に急速な金融引締めによる金利上昇の影響と、中国における不動産市場や民間投資の低迷による影響が顕在化し、景気減速の見通しとなっております。

このような状況の下、当社は前年度の好調な売上高を継続することに注力いたしましたが、主に海外経済の減速及び生産設備需要低迷の与える影響が精密機器事業において想定以上となる状況が継続し、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,721百万円と前年同四半期に比べ455百万円(△7.4%)の減少となりました。

また、処遇改善による労務費増加や部材価格上昇等による原価率の押し上げ影響に対して、価格の適正化とコスト管理による原価率コントロールに努めましたが、販売製品の構成比の変化による利益率への影響や物流コスト等の増加により、営業利益は、376百万円と前年同四半期比で195百万円(△34.2%)の減益、経常利益は、359百万円と前年同四半期比で194百万円(△35.1%)の減益となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は257百万円と前年同四半期比で132百万円(△34.0%)の減益となりました。

各セグメントの業績は次に示すとおりであります。なお、セグメント利益は、営業利益に基づいております。

① 医療機器事業

主力のコンドーム事業は、国内では製品絞り込みにより前期比減収、海外向けについては出荷調整等による減収となりましたが、新素材コンドームSKYNをはじめ、ヘルスケア商品群が概ね好調に推移しました。また、メディカル製品は前期比で増収を確保しました。

利益面では不採算製品の見直し、生産歩留まりの向上、販売費節減への継続的な取り組みの結果、利益改善に大きな成果がみられ、セグメント利益が5期ぶりに黒字化しました。

この結果、売上高は1,810百万円と前年同四半期に比べ5百万円(0.3%)の増加となりました。

セグメント利益は、主にコンドームの生産効率等の改善により、19百万円(前年同四半期は73百万円の損失)となりました。

② 精密機器事業

精密機器事業は、一般産業機械市場の需要回復に力強さが見られず、欧州市場の回復の遅れや中国市場の減速など海外市場の動向に売上が大きく影響を受けました。

利益面では売上減少に伴う減益に加えて、労務費の増加や原材料費の上昇による利益圧迫要因が大きく、コスト増部分の価格転嫁や赤字取引条件の見直しなど利益重視の運営に注力していくことにより、原価率を一定の水準内にコントロールするよう努めましたが、販売製品構成比の変化が利益下押し要因となりました。

この結果、売上高は3,134百万円と前年同四半期に比べ726百万円(△18.8%)の減少となりました。

セグメント利益は、652百万円と前年同四半期に比べ259百万円(△28.5%)の減益となりました。

③ SP事業

主力取引先での需要回復や投入新商品の好調な売上が事業全体を牽引し、前年比増収増益となりました。

この結果、売上高は588百万円と前年同四半期に比べ267百万円(83.3%)の増加となりました。

セグメント利益は、29百万円と前年同四半期に比べ17百万円(152.0%)の増益となりました。

④ 食品容器事業

主力取引先における販売が好調に推移したことや単価改定効果により当四半期は売上が伸び、売上高は187百万円で前年同四半期に比べ1百万円(△1.0%)の減少とほぼ前年度並みの水準まで戻してきました。

セグメント利益は、処遇改善による労務費の増加や人員増による原価率上昇の影響を吸収しきれず、25百万円と前年同四半期に比べ36百万円(△58.5%)の減益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間の総資産は、11,471百万円となり、前連結会計年度末と比べ3百万円減少しました。主な増加要因は、商品及び製品155百万円、仕掛品262百万円などであり、主な減少要因は、現金及び預金214百万円、受取手形及び売掛金180百万円などです。

負債総額は7,655百万円となり、前連結会計年度末と比べ242百万円減少しました。主な増加要因は、短期借入金174百万円などであり、主な減少要因は、未払法人税等103百万円、賞与引当金95百万円、長期借入金230百万円などです。

純資産総額は3,816百万円となり、前連結会計年度末と比べ239百万円増加しました。主な要因は、利益剰余金194百万円の増加などです。この結果、自己資本比率は33.3%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、これら予想数値と異なる可能性があります。なお、2024年3月期の通期連結業績予想につきましては、2023年5月15日公表の2023年3月期決算短信の予想数値から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,939,566	1,725,160
受取手形及び売掛金	1,628,189	1,447,885
電子記録債権	502,922	546,019
商品及び製品	651,649	807,143
仕掛品	598,321	861,297
原材料及び貯蔵品	855,086	870,076
その他	77,177	172,488
貸倒引当金	△228	△221
流動資産合計	6,252,685	6,429,850
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	2,357,526	2,262,490
土地	1,777,718	1,777,718
その他(純額)	488,010	412,042
有形固定資産合計	4,623,254	4,452,251
無形固定資産	34,974	48,824
投資その他の資産	556,371	534,603
固定資産合計	5,214,600	5,035,679
繰延資産	7,503	5,983
資産合計	11,474,789	11,471,513
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	329,415	353,427
電子記録債務	915,493	982,921
短期借入金	2,683,000	2,857,000
1年内返済予定の長期借入金	341,332	316,332
未払法人税等	103,933	684
賞与引当金	206,005	110,843
その他	472,985	495,934
流動負債合計	5,052,164	5,117,144
固定負債		
社債	400,000	400,000
長期借入金	1,873,856	1,642,857
退職給付に係る負債	77,204	74,947
その他	494,681	420,297
固定負債合計	2,845,741	2,538,101
負債合計	7,897,906	7,655,245

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	643,099	643,099
資本剰余金	248,362	248,362
利益剰余金	2,306,628	2,500,921
自己株式	△40,605	△40,742
株主資本合計	3,157,485	3,351,641
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	108,046	141,573
土地再評価差額金	288,295	288,295
為替換算調整勘定	27,871	39,084
退職給付に係る調整累計額	△4,816	△4,326
その他の包括利益累計額合計	419,397	464,626
純資産合計	3,576,883	3,816,267
負債純資産合計	11,474,789	11,471,513

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	6,176,745	5,721,209
売上原価	4,644,991	4,320,784
売上総利益	1,531,754	1,400,425
販売費及び一般管理費	959,813	1,024,084
営業利益	571,940	376,340
営業外収益		
受取利息	390	254
受取配当金	6,198	6,639
受取賃貸料	10,198	10,198
為替差益	—	199
補助金収入	18,237	17,025
その他	7,392	3,340
営業外収益合計	42,417	37,659
営業外費用		
支払利息	44,040	39,731
賃貸費用	2,984	2,931
シンジケートローン手数料	6,349	6,507
為替差損	787	—
その他	6,665	5,609
営業外費用合計	60,827	54,779
経常利益	553,531	359,220
特別損失		
固定資産除却損	10	1,471
減損損失	7,542	3,423
特別損失合計	7,552	4,895
税金等調整前四半期純利益	545,978	354,324
法人税、住民税及び事業税	89,895	40,977
法人税等調整額	65,450	55,648
法人税等合計	155,346	96,625
四半期純利益	390,632	257,699
親会社株主に帰属する四半期純利益	390,632	257,699

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	390,632	257,699
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	23,121	33,527
為替換算調整勘定	15,640	11,213
退職給付に係る調整額	△1,934	489
その他の包括利益合計	36,828	45,229
四半期包括利益	427,461	302,928
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	427,461	302,928
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,804,762	3,861,755	321,237	188,989	6,176,745	—	6,176,745
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,804,762	3,861,755	321,237	188,989	6,176,745	—	6,176,745
セグメント利益 又は損失(△)	△73,726	912,119	11,788	62,171	912,352	△340,411	571,940

(注) 1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△340,411千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	医療機器 事業	精密機器 事業	S P 事業	食品容器 事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,810,447	3,134,801	588,824	187,136	5,721,209	—	5,721,209
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	1,810,447	3,134,801	588,824	187,136	5,721,209	—	5,721,209
セグメント利益	19,090	652,602	29,707	25,793	727,195	△350,854	376,340

(注) 1 セグメント利益の調整額△350,854千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要性が乏しいため、記載を省略しております。